

2010.7.30

## 山陰防災フォーラム（仮称）第1回運営委員会の議事メモ

横田作成

日時：平成22年7月29日（木）16：15-17：30

場所：総合理工学部 第2会議室（総合理工1号館 1F 159号室）

出席者：田坂郁夫（法文・社会文化学科）・林 正久（教育・共生社会教育講座）

丸田 誠（総合理工・材料プロセス工学科）・横田修一郎・増本 清・汪 発武  
・酒井哲弥・林 広樹（総合理工・地球資源環境学科）

### 1. 「山陰防災フォーラム（仮称）」の趣旨と名称

- ・自然災害にかかわる分野は自然そのものから工学まで幅広い。最近では「防災」よりも「減災（mitigation, reduction）」の方が用語として適切とされることが多いが、一般の人に理解を得て親しんでもらえるには「防災」が最もわかりやすい。
- ・英文名称には日本語名称とは多少違ったところもあってもいい。
- ・「山陰」の名称がカバーする範囲は広いが、鳥取などで同様の組織がない現段階では、「山陰」としていてもいいであろう。  
このため、「山陰防災フォーラム」を正式の名称とする。
- ・活動内容として、突発的な災害時に「専門家集団」のアドバイザーとして活動するようなこともあってもいい。

### 2. 組織と経費について

- ・運営組織は大学内でやっていくが、フォーラム等、イベント開催時には学外組織に「協賛」などのかたちで参加を広く呼びかける。
- ・こうしたイベント以外では学外組織の参加は難しいのではないか。
- ・他の組織、たとえば建築士会などの参加も考えていく。
- ・学内的には今年度の経費申請は終わっているのだから、来年度に向けて経費獲得を目指す。「重点枠」で申請するべきか？

### 3. 「第1回山陰防災フォーラム」の開催に向けて

- ・「地域防災力を高める」といったことを基本スタンスとして、本年秋に開催を考える。
- ・経費がないので、学内の施設を利用し、半日程度を考える。
- ・対象をどのように設定するか、学外から多くの参加を得るにはどうするかを考える必要。

### 4. その他

今後はメールなどで議論する。